

じんけん
人権
～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.532 よりよい言葉の選び方

普段何気なく使っている言葉が、意図せず誰かを傷つけている

かもしれません。言葉は、時代や社会の変化と共に、その意味や受け取られ方も変わっていきます。誰もが気持ちよく暮らすために、「よりよい言葉の選び方」について考えてみましょう。

かつて、学校などで使われた「父兄」という言葉は、今では「保護者」が一般的です。これは、子育てを担う保護者を父親や男性に限定するような印象を避け、母親や祖父母など、多様な立場の人々を尊重するための言い換えです。同様に「女医」や「保母」ではなく、性別で役割を限定しない「医師」や「保育士」と呼ぶことも、無意識の固定観念を見直し、一人ひとりを尊重するための言い換えです。

また、「痴呆」を「認知症」、「外人」を「外国人」と言い換えるようになったのは、これらが、病気や属性などを否定的に思わせる語源を持つことや、過去に差別的な意味合いで使われてきた歴史的背景があるためです。より中立的で適切な表現に改めた一例といえるでしょう。

こうした言葉の言い換えを窮屈だと思う人もいるかもしれません。しかし大切なことは、その言葉を聞いて傷ついたり、不快に思うたりする人がいるかもしれない、と想像することです。

言葉は、人を傷つける刃にも、人を励ます温かい贈り物にもなります。日々の会話の中で、よりよい言葉の選び方について考えてみませんか。日常の思いやりのある言葉遣いが、誰もが尊重され、安心して暮らせる社会を築くための大きな力になると思います。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

●いじめについて
益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題
益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400

同和教育、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆地域安全ニュース

益城交番へ直接電話はできません

県警察では、署員がパトロールや事件・事故の捜査活動に専念できるよう、県下全警察署の代表電話に音声自動案内を導入し、交番・駐在所の加入電話を廃止しました。

・益城交番へご用件がある場合は、御船警察署（左記）へお電話ください。交番へおつなぎします。

・警察官にすぐ駆けつけてほしい事件・事故の場合は、ためらわずに110番へお電話ください。

■音声自動案内の利用方法

・平日午前8時30分～午後5時15分「こちらは〇〇警察署です。ご希望の番号を選択してください」というアナウンスが流れます。案内をよく聞いて、該当する番号を押してください。
・休日及び夜間は、音声案内の後、直接警察署員におつなぎします（番号選択の必要はありません）。

図 御船警察署
消費生活相談室 ☎ 282・1110
☎ 286・3210

令和7年 町内の
事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	7月中	累計
人身事故	8	36
物損事故	90	509
空き巣	0	2
自販機狙い	0	0
万引き	3	11
オートバイ盗	0	0
自転車盗	1	2
車上狙い	0	2

◆防火と救急

早めに台風に備える

昨年8月に発生した台風10号では、益城町で最大風速21・6メートル毎秒を観測し、その猛烈な雨風により、全国で死者8人を含む大きな被害が発生しました。

今年の台風は、季節風の影響で発生から上陸までの期間が短くなると予想されています。被害を最小限に抑えるため、早めの備えを心がけましょう。

■具体的に何を備えるといいの？

・ハザードマップで自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。併せて避難場所や避難ルートのチェックも忘れずに。
・非常持ち出し袋には、飲料水、非常食、常備薬、懐中電灯、モバイルバッテリーに加え、多少の現金も用意しておきましょう。ペットを飼っている人は、キャリーケースやリード、餌、ペット用のおむつなども準備しておくとう安心です。
・日頃から近所との交流を深め、非常時に助け合える関係づくりが大切です。

図 益城西原消防署 ☎ 286・2119

令和7年
町内の火災等発生状況

発生区分	7月中	累計
建物	1	6
車両	0	0
林野	0	0
その他	0	0
警戒出動	4	13
救急出動	167	1,084
救助出動	2	6

益城の 文芸

短歌

色ぬりしペットボトルの風車音たて回る
カラフルに回る 安永 守住 孝子
枝広げ木陰をつくりし庭桜夫と涼みて昔
を語る 惣領 島田 廣子
つかのまの縁なれども受話器より聴こえ
し声は耳に残れり 木山 赤城 香織
宮の森猛暑凌ぐ蟬時雨園児ら負けず声出
し遊ぶ 広崎 日野ヒロ子
もてあます時間を歌の推敲にあてて診察
呼ばるるを待つ 惣領 垣野 幸一
夏の朝障子にうつる木漏れ日とせみのな
き声はじまる一日 広崎 大原 郁
夏雲と青く澄んだ高い空交わす言葉は今
日も暑かね 馬水 増田 訓子
去年の夏西瓜割りして種とばし花壇に延
びるよ西瓜の蔓が 木山 本田 龍子
猛暑日の震災復興四車線手足の如く重機
操る 惣領 甲斐 道夫
鶏頭の橙色の鮮やかさ夏始まりぬあちこ
ち隅に 赤井 米澤 さわ
朱を入れし十四年分の選歌帳メモに一言
「上手になった」 末武 佑子

俳句 川柳 小春選

夏草や育ちし家にだれも居ず 木山 鎌田 隆子
夕立を待ちわびし手をかざしけり 木山 本田 龍子
ふる里の一軒床屋緋のカンナ 古閑 今村 恒心
雑草の茂みに点る熟れトマト 広崎 大原 郁
村祭雨乞い太鼓高らかに 広崎 大石 高義
冷や汁や夕餉のこころ弾ませて 惣領 阪口由美子
鎌もたぐ蟪蛄幼い日の遊び 西原村 中原 義一
犬猫も人もエアコン頼みなり 惣領 野々口トミ子
前髪にすべてをかける娘たち 安永 福山 友子
健診日前の晩だけ酒を止め 惣領 野宮 逸吉
味自慢姑の腕は嫁が継ぎ 馬水 増岡 伸禧

投稿は①氏名(ペンネームの場合はふりがなも)②住所③電話番号④作品を明記し、

メール(mashiki890@gmail.com)、はがきで役場広報係に送ってください。締切は毎月10日(必着)。